



TITLE:

京都大学図書館機構概要 2012

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学図書館機構概要 2012. 2012: 4-18

ISSUE DATE:

2012-07

URL:

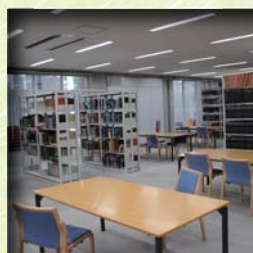
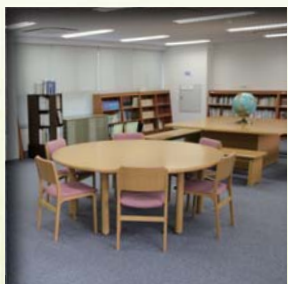
<http://hdl.handle.net/2433/180075>

RIGHT:

# 京都大学 図書館機構 概要

Outline of the Kyoto University Library Network

2012





京都大学図書館機構は、京都大学の基本理念に基づき、世界最高水準の教育・研究拠点に相応しい学術情報基盤としての役割を担うことを使命とする。将来にわたって、京都大学における教育・研究活動を支援し、かつ国内外の学術コミュニティに貢献するために、人類の知的資産である学術情報資源や新たに生み出される知的成果を不断に収集、整理、保存し、関連する情報を発信するとともに、常に最上質の先進的情報サービスを研究開発し、提供する。

そのため、京都大学図書館機構は以下の目標の実現をめざす。



**1** 京都大学図書館機構は、全学の図書館機能を十全に発揮して教育・研究を支援するために、学生・教職員のニーズを把握し、それに応えることを最優先する。

**2** 学術情報基盤としてのコレクションおよび情報サービス体制を構築するために、学術情報を適切に選定、収集、整理し、必要な研究開発を行い、それらへの最善のアクセスを提供する。

**3** 京都大学が日々創造する世界的に卓越した知的成果の蓄積・発信を行う。

**4** 京都大学が保有する人類の知的資産を将来にわたって利用できるような保存管理体制を整備する。

**5** 学術情報活用のために質の高い利用者支援システムを構築する。

**6** 図書館利用者が学術情報を有効かつ快適に活用できるように、全ての図書館スタッフのスキルおよびモチベーションの向上と、設備、施設の充実を図る。

**7** 京都大学図書館機構を構成する組織は、相互に、また関連する学内組織との間の協力関係を強化する。

**8** 国内外の図書館と連携し、相互協力するとともに、社会と地域に貢献する。

## CONTENTS

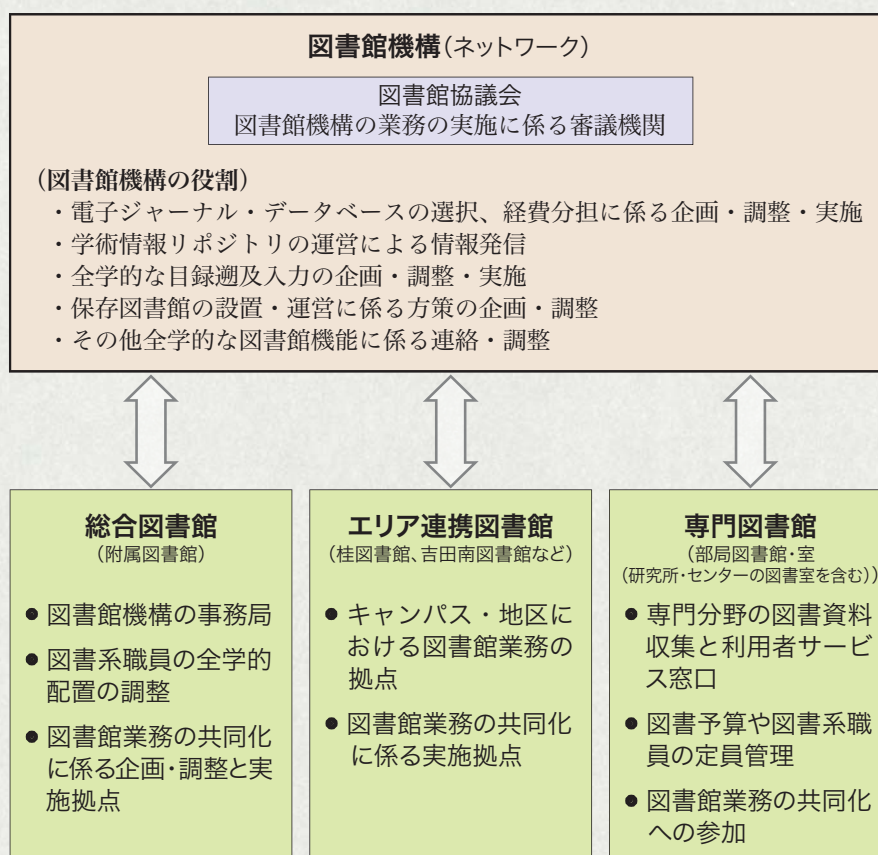
### 京都大学図書館機構概要 2012

I. 京都大学図書館機構の基本理念と目標	1
II. 京都大学図書館機構将来構想	2
III. 図書館機構の構成	3
IV. 沿革	5
V. 蔵書統計	6
VI. 図書館機構の事業	7
VII. 京都大学の図書館・室	17

将来構想は、機構の基本理念と目標に則り、おおよそ10年後の京都大学の図書館のあり方を展望し、事業目標を明らかにすることを目的に、2006年8月から検討を始め、2009年12月18日に図書館協議会において承認されました。

## ■ 4つの基本目標

1. 全学図書館ネットワークの整備を図る
2. 図書系職員の力量の向上を図り、連携体制を強化する
3. 図書財源を安定的に確保し、系統的なコレクションを構築する
4. 図書館施設を量的・質的に整備する



## ■ 今後10年間の事業目標

1. 学術情報資源の整備：予算確保と蔵書構築
2. 図書館サービスの充実：全学図書館ネットワークの整備
3. 知的成果の発信：学術情報リポジトリの運営
4. 知的資産の保存・管理：電子図書館の運用と保存図書館の整備
5. 利用者の支援：システムの構築とリテラシー教育
6. 人的資源の整備：図書系職員の養成と連携強化
7. 組織力の強化：図書館機構の機能充実と相互協力
8. 対外活動の推進：社会貢献と他機関との交流



# III 図書館機構の構成

## 1 組織図



\* 図書館機構長は附属図書館長を兼ねる。

### \* 図書館協議会構成

図書館機構長(議長)、理事(図書館担当)、図書館機構副機構長、宇治分館長、部局選出の構成協議員、附属図書館事務部長、その他総長が必要と認める教員で構成

### \* 幹事会

図書館機構長、理事(図書館担当)、図書館機構副機構長、宇治分館長、特別委員会委員長、附属図書館事務部長、その他機構長が必要と認める者



## 2 歴代図書館機構長等

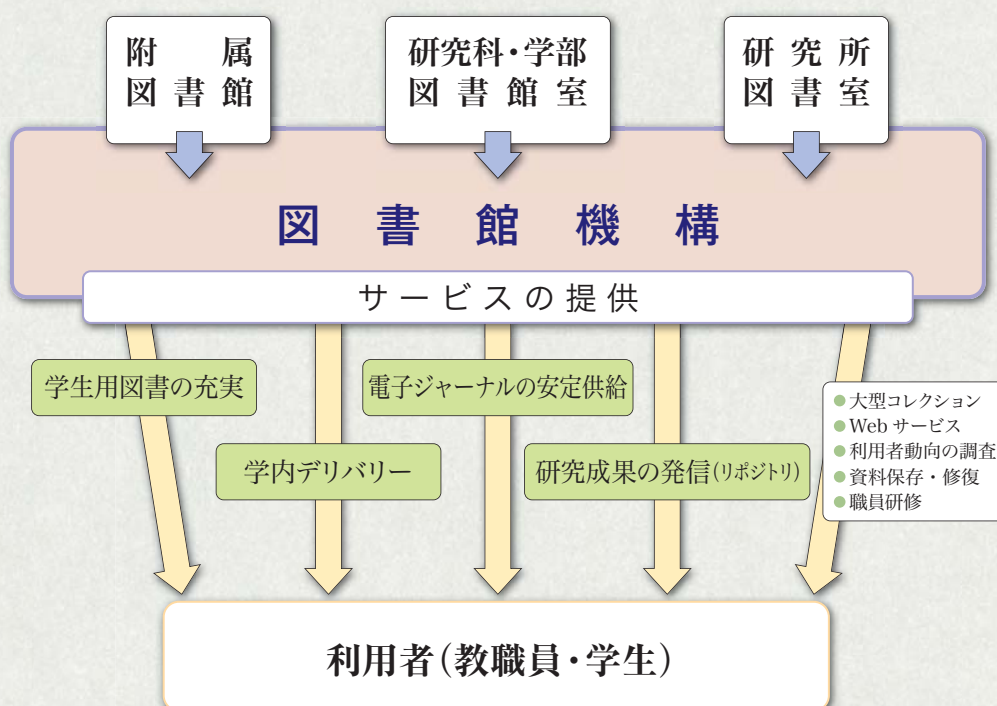
### ■ 図書館機構長（附属図書館長を兼ねる）

	氏 名	就 任 ～ 退 任
初 代	大 西 有 三 (工)	平成17年 4 月 1 日 ～ 平成20年 9 月30日
	大 西 有 三 (事務取扱)	平成20年10月 1 日 ～ 平成20年10月31日
第 2 代	藤 井 讓 治 (文)	平成20年11月 1 日 ～ 平成23年 3 月31日
第 3 代	林 信 夫 (法)	平成23年 4 月 1 日 ～

### ■ 図書館機構副機構長

	氏 名	就 任 ～ 退 任
初 代	森 棟 公 夫 (経)	平成17年 6 月 1 日 ～ 平成18年 3 月31日
第 2 代	岡 田 知 弘 (経)	平成18年 4 月 1 日 ～ 平成20年 9 月30日
第 3 代	岡 田 知 弘 (経)	平成20年12月16日 ～ 平成23年 3 月31日
第 4 代	引 原 隆 士 (工)	平成23年 4 月 1 日 ～

## 3 図書館機構





- 明治**
- 30(1897)年 ▶ 6月 京都帝国大学創立、附属図書館設置
  - 32(1899)年 ▶ 12月 閲覧室開室(11日。この日を附属図書館創立記念日とする。)
  - 41(1908)年 ▶ 12月 「附属図書館商議会議程」制定
- 平成**
- 15(2003)年 ▶ 7月 附属図書館商議会に政策委員会を設置【～平成16年3月】
  - 12月 部局長会議に図書館検討WG設置(主査：金田副学長) 【～平成16年2月】
  - 16(2004)年 ▶ 3月 図書館検討WGの報告を受けて、部局長会議で「京都大学図書館機構(仮称)」と「京都大学図書館協議会(仮称)」の設置を了承
  - 4月 京都大学図書館協議会発足  
(附属図書館商議会議程廃止、附属図書館運営委員会規程を別に制定)
  - 17(2005)年 ▶ 3月 「京都大学における全学の図書館機能に関する規程」の制定
  - 4月 京都大学図書館機構発足  
第一特別委員会、第二特別委員会、第三特別委員会を設置
  - 5月 分館の在り方検討特別委員会を設置
  - 18(2006)年 ▶ 4月 認証システム監理特別委員会を設置
  - 5月 学内デリバリー・サービス運用開始(平成19年7月から専用便へ移行)
  - 3月 学術情報リポジトリ試験公開(10月から正式公開)
  - 19(2007)年 ▶ 3月 電子ジャーナル・データベース認証システム公開テスト開始(4月から本運用)  
「京都大学図書館機構の基本理念と目標」制定
  - 4月 外国雑誌業務センター設置  
図書館機構に基盤強化経費の予算措置
  - 20(2008)年 ▶ 3月 「京都大学図書館機構の将来構想案」発行
  - 4月 電子ジャーナル経費の共通経費化実施  
学術情報リポジトリ特別委員会を設置  
(学術情報リポジトリ検討委員会：平成17～19年度：を改組)
  - 12月 利用者アンケート調査実施
  - 21(2009)年 ▶ 6月 キャンパス間返送サービス開始
  - 12月 「京都大学図書館機構将来構想」策定
  - 23(2011)年 ▶ 1月 学術情報リポジトリが世界の機関リポジトリランキングで国内第1位、世界第6位を取得
  - 10月 「京都大学図書館機構規程」の制定（「京都大学における全学の図書館機能に関する規程」の改正）



(2012年3月31日現在)

部 局 名	2011年度受入冊数			蔵 書 冊 数			目録情報入力冊数累計		
	和 書	洋 書	計	和 書	洋 書	計	和 書	洋 書	計
附 属 図 書 館	13,011	2,599	15,610	627,461	256,476	883,937	487,159	216,615	703,774
附 属 図 書 館 宇 治 分 館	394	906	1,300	12,718	56,214	68,932	10,935	42,044	52,979
文 学 研 究 科	15,111	6,129	21,240	647,538	412,885	1,060,423	443,671	399,939	843,610
教 育 学 研 究 科	2,165	1,936	4,101	95,627	68,221	163,848	93,423	66,379	161,836
法 学 研 究 科	3,843	4,817	8,660	302,925	391,003	693,928	236,767	306,486	543,253
経 済 学 研 究 科	8,115	5,031	13,146	285,827	258,791	544,618	263,959	239,899	526,574
理 学 研 究 科	2,042	3,675	5,717	47,860	192,790	240,650	40,439	170,644	211,083
医 学 研 究 科	2,119	1,618	3,737	91,480	154,476	245,956	86,528	145,346	231,874
薬 学 研 究 科	254	106	360	11,639	25,540	37,179	11,467	24,793	36,260
工 学 研 究 科	2,042	1,138	3,180	141,704	206,584	348,288	126,698	184,216	310,914
農 学 研 究 科	1,691	833	2,524	144,752	126,397	271,149	120,153	104,125	224,278
人 間 ・ 環 境 学 研 究 科	6,142	6,647	12,789	312,141	272,978	585,119	294,706	259,841	554,547
エ ネ ル ギ ー 科 学 研 究 科	78	66	144	4,680	5,204	9,884	4,452	5,183	9,673
アジア・アフリカ地域研究研究科	254	3,303	3,557	13,743	91,299	105,042	13,729	91,208	104,937
情 報 学 研 究 科	906	781	1,687	18,225	55,892	74,117	17,952	55,054	73,005
生 命 科 学 研 究 科	0	0	0	28	50	78	4	45	49
地 球 環 境 学 堂	1,022	658	1,680	3,565	2,819	6,384	3,565	2,819	6,384
公 共 政 策 大 学 院	96	19	115	1,136	213	1,349	1,136	213	1,349
経 営 管 理 大 学 院	179	63	242	1,293	464	1,757	1,293	464	1,757
人 文 科 学 研 究 所	6,771	913	7,684	498,930	87,778	586,708	233,481	82,549	316,030
再 生 医 科 学 研 究 所	0	0	0	442	4,420	4,862	84	771	855
ウ イ ル ス 研 究 所	0	11	11	305	3,337	3,642	298	2,802	3,100
経 済 研 究 所	246	703	949	41,151	39,361	80,512	41,151	39,361	80,512
基 礎 物 理 学 研 究 所	123	1,136	1,259	9,595	87,368	96,963	8,439	78,841	87,280
数 理 解 析 研 究 所	109	2,083	2,192	7,428	85,957	93,385	7,153	83,653	91,183
原 子 炉 実 験 所	358	273	631	15,336	37,257	52,593	15,321	37,206	52,577
霊 長 類 研 究 所	259	223	482	7,835	17,746	25,581	7,796	17,746	25,577
東 南 ア ジ ア 研 究 所	611	4,501	5,112	28,310	151,109	179,419	25,390	125,621	151,011
高等教育研究開発推進センター	42	1	43	2,627	1,007	3,634	2,627	1,007	3,634
フィールド科学教育研究センター	174	61	235	13,716	8,034	21,750	7,668	4,942	12,610
放 射 線 生 物 研 究 セ ン タ ー	4	0	4	507	2,036	2,543	445	2,022	2,525
生 態 学 研 究 セ ン タ ー	118	194	312	8,905	6,533	15,438	8,905	6,533	15,438
学 術 情 報 メ デ ィ ア セ ン タ ー	52	13	65	3,338	6,327	9,665	3,047	5,437	8,484
こころの未来研究センター	6	38	44	130	208	338	130	208	338
大 学 文 書 館	0	0	0	696	0	696	696	0	696
地 域 研 究 統 合 情 報 セ ン タ ー	1,154	1,209	2,363	1,560	42,613	44,173	1,048	23,483	29,704
物 質 - 細 胞 統 合 シ ス テ ム 拠 点	0	1	1	0	1	1	0	1	1
施 設 部	2	38	40	806	1,581	2,387	435	1,539	1,974
研 究 国 際 部	1	0	1	647	74	721	642	74	716
計	69,494	51,723	121,217	3,406,606	3,161,043	6,567,649	2,622,792	2,829,109	5,482,381

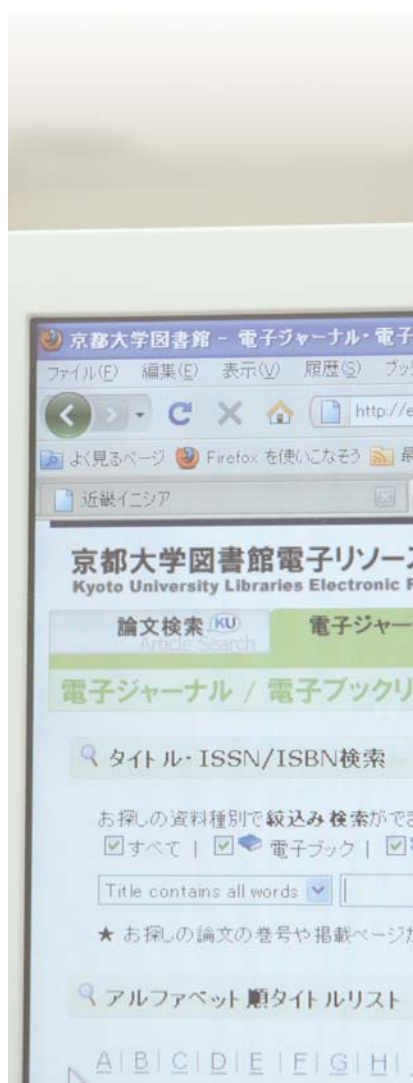
(注) 附属図書館宇治分館は、化学研究所・エネルギー理工学研究所・生存圏研究所・防災研究所の蔵書数等を含めた数



# IV 図書館機構の事業

## コレクションの構築

電子ジャーナルの安定供給  
大型コレクションの整備  
学生用図書 の 充 実

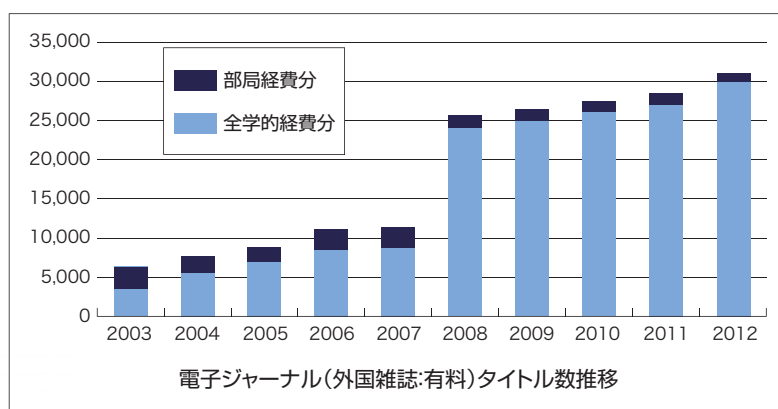


## 電子ジャーナルの安定供給

電子ジャーナルは、冊子体の学術雑誌に代わり、今や研究のライフラインとして必要不可欠な情報源になっています。全学で利用できる電子ジャーナル（外国雑誌）は、2012年度現在、有料のもので約30,000タイトルに上っています。無料公開のオープンアクセスジャーナルを含めて、京都大学で利用可能な電子ジャーナル全点リストをホームページ

に掲載し、有効な活用を図っています。

電子ジャーナルに対する需要は今後も増大することが見込まれますが、購読料は年々値上がりしており、そのために必要な経費の確保が課題となっています。図書館機構では他大学の図書館と協力しつつ状況改善に努力しています。



### 主要電子ジャーナル アクセス数順 Best 20

順位	タイトル	順位	タイトル
1	Nature	11	Tetrahedron Letters
2	Journal of the American Chemical Society	12	New England Journal of Medicine
3	PNAS	13	Tetrahedron
4	Science	14	Applied Physics Letters
5	Cell	15	Biochemical and Biophysical Research Communications
6	Angewandte Chemie International Edition	16	The Journal of Chemical Physics
7	Physical Review Letters	17	Macromolecules
8	The Journal of Organic Chemistry	18	Nature Cell Biology
9	Organic Letters	19	Nature Materials
10	Physical Review B	20	Nature Medicine

## 大型コレクションの整備

大型コレクションの整備は、部局単独で購入することが困難で、かつ学内外の共同利用にふさわしい資料を収集することを目的に、図書館機構が各部局に購入希望調査をし、全学設備整備経費を申請、その配分を

受けて行っている事業です。

本事業は、2002年度まで文部科学省によって行われていたものを、本学独自の事業として継続しているものです。

### 2011 年度購入資料

『東京大学経済学部図書館所蔵資料 山一證券株式会社 マイクロフィルム版 第1集～第12集』（マイクロフィルム及びDVD-ROM・経済学研究科所蔵）

『戦後東南アジア新聞・週刊誌基礎資料コレクション』（新聞（原紙）及びマイクロフィルム・東南アジア研究所所蔵）

『British Newspapers 1600-1900（近世近代イギリス新聞アーカイブ）』（オンラインデータベース）

## コレクションの構築

電子ジャーナルの安定供給  
大型コレクションの整備  
学生用図書の充実

## 学生用図書の充実

学生用図書の充実は、中期目標に掲げられている自学自習を促進する教育環境の整備において、重要な部分を担っています。

図書館機構では、学生一人当たり1冊の提供を目標に、新刊図書を中

心に全分野からバランスよく基本的な学習用図書を収集し、学部学生の利用が多い附属図書館と人間・環境学研究科総合人間学部図書館に配備しています。

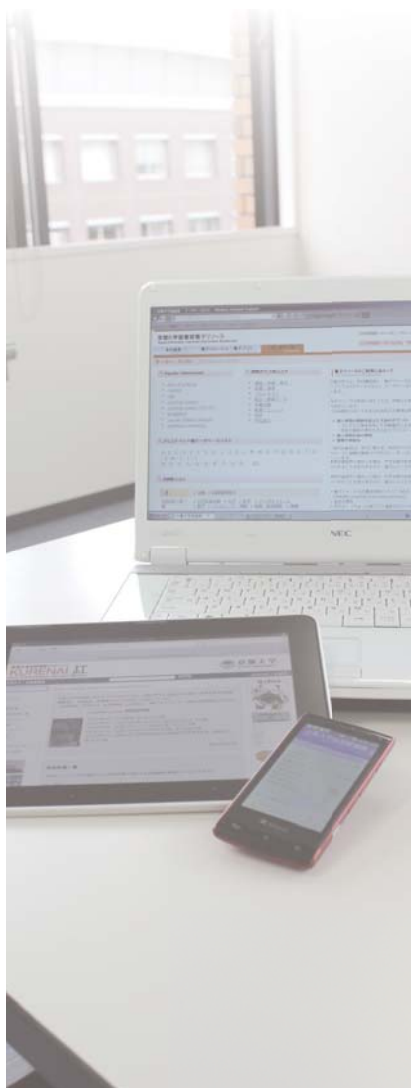
年度	学生用図書購入冊数	学生数	学生一人当たりの購入冊数
2005	11,995	13,254	0.91
2006	12,648	13,278	0.95
2007	12,695	13,381	0.95
2008	17,093	13,399	1.28
2009	14,859	13,417	1.11
2010	14,784	13,473	1.10
2011	15,065	13,537	1.11





## アクセスの提供

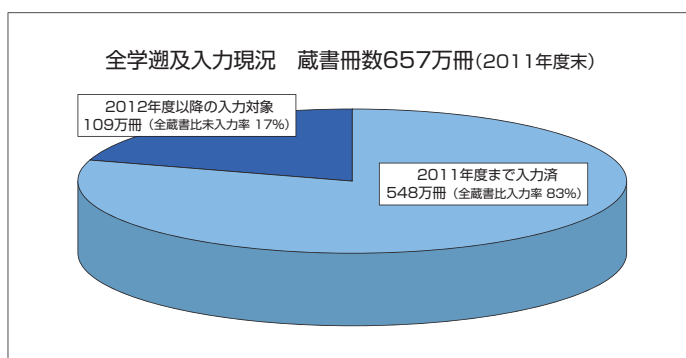
### 全学 遡 及 入 力 の 推 進 全学共通科目「情報探索入門」



## 全学遡及入力の推進

京都大学は、大学創設以来110年にわたって貴重な図書館資料を収集・蓄積し、その蔵書数は国立国会図書館、東京大学に次ぐ国内第3位の657万冊です。図書館機構では、図書館資料の利用を促進し、資料へ

の最善のアクセスを提供するために、2004年度から2009年度までを第1期とし、さらに2010年度からは第2期の6ヵ年計画を策定し、全学的な取り組みとして蔵書目録情報の遡及入力事業を進めています。



## 全学共通科目「情報探索入門」のサポート

「情報探索入門」は1998年当時の長尾真総長と附属図書館の発案のもとで開始された授業科目です。全学部の学生を受講対象にした京都大学初の学術情報リテラシー専門科目で、複数名の教員による「分類」「目録」等主題ごとのリレー式講義と、図書館やパソコンを使っの演習で構成されています。毎年各部局

の図書館員（主として若手職員）10数名が、担当教員とともに演習問題の作成等演習をサポートし、授業に深く関わっています。

この科目は学生からも高い評価を受けており、情報環境の変化にも内容に対応させつつ、今後も継続させていきます。



## 資料保存の取り組み

京都大学図書館機構では、図書館・室の書庫でカビの発生や水損事故が起きたことを契機として、2007年に「京都大学図書館機構・資料保存環境調査趣意書」を作成し、2008年に「京都大学図書館機構所蔵資料保存環境アンケート報告書」を発行しました。

以降も以下のような取り組みを行っています。

- 「図書館資料保存環境整備マニュアル（書庫環境編）」、付録「書庫環境チェックリスト」の改訂と調査、改善点の提案
- 「図書館資料保存環境整備マニュアル（マイクロフィルム編）」、付録「マイクロフィルムチェックリスト」の作成と調査、改善点の提案
- 上記マニュアルの京都大学学術情報リポジトリ（KURENAI）公開

- 防災ポスター、閲覧室・書庫の防災マップ作りのためのアイコン集を製作
- スタッフの保存技術の向上を目指した資料保存実務研修の実施



## 知的資産の 保存管理

### 資料保存の取り組み 貴重書の修復

## 貴重書の修復

京都大学は、国指定の国宝・重要文化財をはじめ多くの貴重な古典籍・古文書等を所蔵していますが、長い保存年月と利用により、虫損・劣化が著しい資料も少なくありません。これらの傷みの激しい資料について、緊急性の高いものを教育・研究の資料として活用し耐えうる状態

にすることを目的に、修復事業を行ってきました。

2010年度には、「修復貴重資料選定のための指針」を定めて学内調査を行い、「修復貴重資料修復計画」を策定、2011年度よりこの計画に基づき修復を行っています。

### 2011 年度修復資料

#### 文学研究科

- 「御江戸之図」他地図7点、「芝居番付集」6冊、奈良絵本「たなはた」2冊 計9点15冊（枚）

#### 理学研究科

- 「Remberti Dodonæi Mechliniensis Medici Cæsarei Stirpium historiae pemptades sex, sive libri XXX」1冊他洋書 計7点21冊

#### 基礎物理学研究所

- 「Cosmographia」1冊

#### 附属図書館

- 「古写経断簡」1軸、「胎記」(下巻) 1冊 計2点2冊(軸)

#### 総合博物館

- 「椿井大塚山古墳出土 鉄製鏃」23本





## 情報サービス 体制の構築

### 学内図書デリバリーサービス

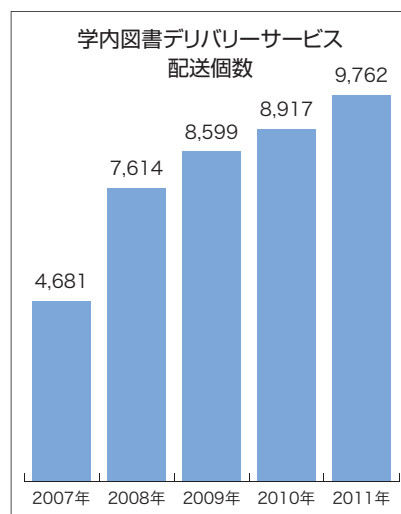


## 学内図書デリバリーサービス・ キャンパス間返送サービス

「学内図書デリバリーサービス」は、学内の利用者に時間的、経費的負担をかけないで、遠隔地キャンパスから図書を取寄せることができるサービスです。2007年7月から運用を開始した新配送サービスにより、

- ①本部地区、桂地区、宇治地区の3地区を結ぶ配送業者によるルート便（図書専用便）
- ②それ以外の遠隔地間を直接結ぶ直送便（宅配便）

の2つの組み合わせで学内の図書館・室がほぼ網羅され、従来の学内便（事務室間文書配達便）では配送できなかった地区も配送エリアに含まれました。



このことにより、資料をより安全・確実に、無料で最寄りの図書館・室まで取り寄せることができるようになりました。

2009年6月からは、新配送サービスを活用した「キャンパス間返送サービス」も開始しました。



これは、かねてから要望の多かった、利用者が離れたキャンパスで借りた資料を最寄りの図書館・室で返却できるサービスで、これにより学内利用者の利便性もさらに向上しました。

## 能力開発・研修の取り組み

### 図書館職員資質向上のための各研修の企画

図書館機構にとって、図書館利用者から信頼・評価される事業・サービスの充実は不可欠であり、それを実現するためには、図書館職員の資質向上がますます重要となっています。そのために業務改善検討委員会

の下に能力開発・研修部会を設置して、図書館職員の能力開発・資質向上のため、毎年さまざまな研修・講習会を企画立案し、開催しています。

#### 2011年度開催研修

4月25日 5月13,24,30日	図書館業務システム研修	収書,ILL,閲覧,目録
5月20日	図書系職員初任者研修	
6月24日	図書系職員研修(総合)	『大学図書館をめぐる動向と課題』
7月19日	図書系職員研修(総合)	『コミュニケーション力up↑』
9月28日	個人情報保護に関する講習会	
11月22日	実務研修「レファレンス」	『データベース入門!』 『レファレンス業務基本編』
11月29日	実務研修「資料保存」	『包んで保存』
12月7日	実務研修「プレゼンテーション」	『文書・書類作成のコツを学ぶ』
12月15日	実務研修「目録」	『ローカル目録システム&KULINE検索の仕組み(基本編)』 『NACSIS-CAT/ILLワークショップ参加報告』



実務研修「プレゼンテーション」『文書・書類作成のコツを学ぶ』グループワーク

### 図書館機構講演会の開催

図書館機構では最新の取り組みやこれから注目されると予想するトピックをテーマとした講演会を毎年開催しています。講演会は本学の図書館職員の資質向上につながると共に、

学外にも広く参加を募り内容を京都大学 OpenCourseWare で公開することで、近隣の大学図書館から全世界まで京都大学のプレゼンスを高める役割をも果たしています。

#### 近年の図書館機構講演会

平成23年度	・図書館は学生の現在(いま)にどう応えるか? ー変わりゆく「学び」と大学図書館ー
平成22年度	・iPadが図書館を変える? ~これからの出版、教育、大学図書館~
平成21年度	・連想検索システムと次世代OPAC ・次世代OPACを考える ー目録情報の視点からー

## スタッフの スキル向上

### 能力開発・研修の取り組み





## 知的成果の 蓄積・発信

機 関 リ ポ ジ ト リ  
貴重資料の電子化と公開

## 京都大学学術情報リポジトリ「KURENAI」

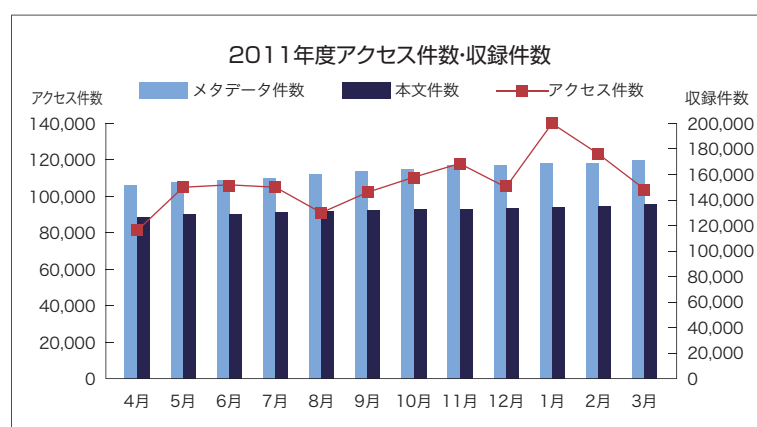
京都大学図書館機構では、京都大学の研究・教育成果（学術雑誌掲載論文、学位論文、紀要論文、科研費報告書など）を社会に発信する「京都大学学術情報リポジトリ（KURENAI）」を構築し、2006年からインターネット上で公開しています。

本事業を通じて、図書館機構は本学の中期目標・中期計画にある「研究活動の成果を広く社会に還元する」や「学術情報の公開を通じて、社会に対する説明責任を果たす」とい

った目標・計画を支援するとともに、本学の研究活動や研究者を広く社会にアピールしています。

2011年度の1年間にダウンロードされた論文の件数は180万件を超え、月平均約15万件のアクセス数がありました。

京都大学学術情報リポジトリでは、今後も多様な研究分野の論文等を積極的に収集・発信し、本学の研究成果により一層アクセスしやすくなるように努めてまいります。

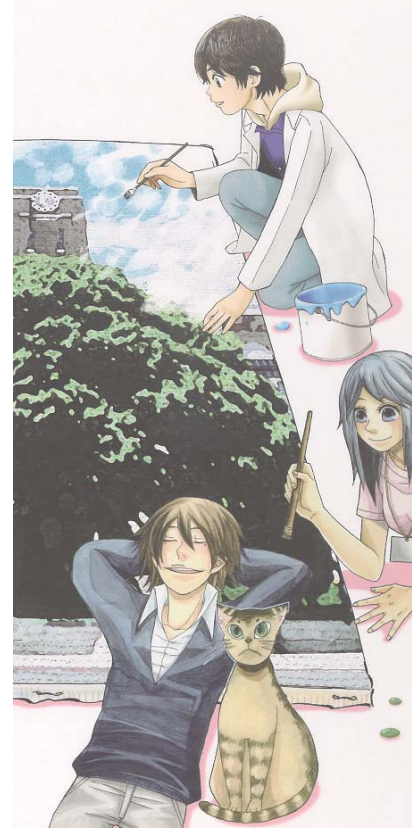


## 2011年 アクセスランキング

順位	種別	著 者	タイトル	掲載誌等	アクセス
1	紀要論文	笠原 勝幸; 小田 裕造; 飯田 寛和; 中村 孝志	人工股関節全置換術(THR) 術後の股関節脱臼について	京都大学医療技術短期 大学部紀要	7,468
2	学術雑誌 掲載論文	Takahashi Kazutoshi; Tanabe Koji; Ohnuki Mari; Narita Megumi; Ichisaka Tomoko; Tomoda Kiichiro; Yamanaka Shinya	Induction of Pluripotent Stem Cells from Adult Human Fibroblasts by Defined Factors	Cell	4,243
3	図 書	Welcome! 京大プロジェクトチーム	Welcome! 京大: 京大生がつくるキャンパスマップ		3,181
4	紀要論文	平井 耕太郎; 喜多 かおる; 三賢 訓久; 藤川 直也; 北見 一夫	腔内異物による膀胱腔瘻の1例	泌尿器科紀要	2,590
5	紀要論文	稲津 雅弘	〈産業界の技術動向〉 ハイブリッド車の現状と今後	Cue: 京都大学電気関係 教室技術情報誌	2,531
6	学位論文	川原村 敏幸	ミストCVD法とその酸化亜鉛 薄膜成長への応用に関する研究		2,344
7	図 書	京都大学・京都精華大学 マンガプロジェクト	MANGA Kyoto University		2,313
8	紀要論文	稲本 俊; 小谷 なつ恵; 萩原 淳子; 谷辺 佳代; 西川 誠人; 赤澤 千春	術後せん妄の発症状況とそれに対する 看護ケアについての臨床的研究	京都大学医療技術短期大 学部紀要	1,942
9	紀要論文	酒井 浩; 土井田 稔	頸髄症における上肢運動機能の経時的 変化 -術前・術後3ヶ月までの変化-	京都大学医学部保健学科 紀要: 健康科学	1,854
10	学位論文	石川 覚志	機能性エラストマーの 数値解析理論に関する研究		1,791

## 知的成果の 蓄積・発信

## 機 関 リ ポ ジ ト リ 貴重資料の電子化と公開



## 貴重資料の電子化と公開

京都大学図書館機構では、学術・文化の発展に貢献するため、貴重な古典籍・古文書をはじめとする学術資料の電子化とインターネット上での公開に取り組んでいます。国宝『今昔物語』や重要文化財40点をはじめ、これまでに電子化した資料

は約4,000点に及び、国内でも有数の規模を誇ります。

貴重資料の電子化は毎年継続的に実施しており、2011年度は、前年に修復した古典籍など9点を対象に実施しました。

### 主な収録資料

国宝：今昔物語集（鈴鹿本）  
重要文化財：兵範記など40点  
貴重書：國女歌舞伎絵詞 天正遣欧使節肖像画 など



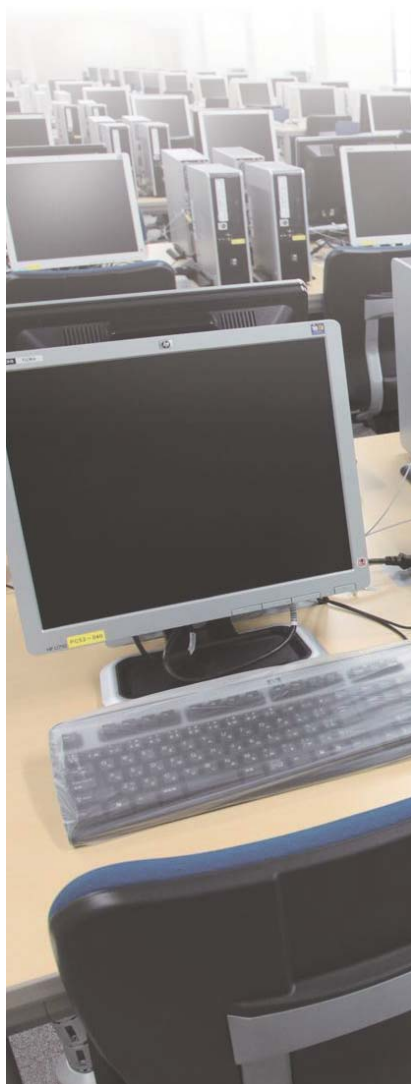
国宝「今昔物語集」



國女歌舞伎絵詞

## 利用者サービス・ 支援向上の取り組み

K U L I N E サービス  
図書館利用支援の取り組み  
図書館機構報「静脩」リニューアル



## KULINE サービス

～Web サービスの充実に向けて～

図書館機構では蔵書検索システムを中心としたいくつかのオンラインサービスをKULINE（クライン）サービスと呼んで提供しています。

### ●豊富な機能

京都大学で利用可能な資料を紙・電子といったメディアの区別をすることなく、一元的に検索できるほか、以下のような機能も提供し、ユーザが探している資料が見つからなかった場合のフォローにも力を注いでいます。

- 貸出中の資料のオンライン予約
- 資料取寄せサービスの申込み（ILL）
- キーワード登録により条件に一致する資料をメールでアラート通知

また、MyKULINE（マイ・クライン）では自分が借りている資料の確認や貸出期限の更新が可能で、蔵書検索と資料の予約・貸出更新はパソコンに限らず、携帯電話からのアクセスにも対応しています。

### ●図書館機構の使命

ユーザが求める資料を適切かつ迅速に発見・入手できるようなサービス

を作り上げていくことを図書館機構の使命と捉え、それをweb上で実現していくのがKULINEサービスの役割です。

そのためには、説明がなくても直観的に使える「操作性のシンプルさ」を実現しつつ、他にもwebに慣れ親しんだユーザの利用スタイルと潜在的なニーズを把握し、それに応じた機能の向上やユーザインタフェースの改善を続けていきたいと考えています。



### ●より良いサービスに向けて

京都大学では図書館機構を含めた様々な部署がサービスを提供している結果、分散化・複雑化が起きている結果、大学全体で一貫性のあるサービスを提供していくという視点が重要です。KULINEサービスもその一翼を担うサービスであると考え、積極的に他大学のシステムだけでなく優れたwebサービスについて情報を収集し、よりよいサービスの提供に取り組んでいます。





## 図書館利用支援の取り組み

図書館とその資料を学習や研究に  
いっそう有効に活用してもらうた  
め、図書館・室での利用ガイダ  
ンス、各種データベースの利用講習  
会や文献収集法の講習会、授業やゼ  
ミ単位での講習会などさまざまなプ  
ログラムを提供しています。また、資料  
別の探し方などを案内する各種「レ

ファレンス・ガイド」を始めとした  
支援ツールを用意しています。

さらに、こうした取り組みを基盤  
として、学生の学術情報リテラシー  
向上に積極的に貢献するため、全学  
的な学術情報リテラシー教育支援を  
行う体制の構築を目指しています。



留学生向け図書館利用ガイダンス


レファレンス・ガイド  
(日本語版22種、英語版9種提供)

## 利用者サービス・ 支援向上の取り組み

KULINE サービス  
図書館利用支援の取り組み  
図書館機構報「静脩」リニューアル



## 図書館機構報「静脩」リニューアル

「静脩」は、附属図書館報として  
1964年から刊行を開始し、2005年  
度の図書館機構発足を機に、図書館  
機構報として京都大学の図書館の近  
況や所蔵資料の紹介など様々な図書  
館の情報を学内外にお知らせしてき  
ました。

2011年度には利用者により親し  
みを持ってもらえるよう内容やデザ  
インを見直し、カラー版にリニュー  
アルしました。

これからも図書館機構の広報誌と  
して、様々な話題を利用者に提供し  
ていきます。



リニューアルした静脩と京大図書館MAP

# VII 京都大学の図書館・室







## ● 吉田キャンパス

本部構内 (電話=4ケタは内線. 外線は 075-753-****)	
図書館室名	電 話
23 附 属 図 書 館	2632
28 文 学 研 究 科 図 書 館	2715
22 文 学 研 究 科 学 術 雑 誌 閲 覧 室	2461
20 教 育 学 研 究 科・教 育 学 部 図 書 室	3016
18 法 学 部 図 書 室	3114
19 経 済 学 研 究 科・経 済 学 部 図 書 室	3412
26 経・経 済 資 料 セ ン タ ー	3416
36 工 学 研 究 科 図 書 掛	5048
32 工・工 業 化 学 科 図 書 室	5556
37 工・電 気 系 図 書 室 (吉 田)	5360
35 工・建 築 系 図 書 室 (吉 田)	5761
31 工・地 球 工 学 科 図 書 室	5118
38 工・物 理 系 図 書 室	5187
39 工・航 空 宇 宙 工 学 図 書 室	5810
27 人 文 科 学 研 究 所 図 書 室	6909
33 エ ネ ル ギ ー 科 学 研 究 科 図 書 室	3591
29 情 報 学 研 究 科 図 書 室	5390
30 地 球 環 境 学 堂 図 書 室	5631
34 学 術 情 報 メ デ ィ ア セ ン タ ー 図 書 室	7416
25 環 境 科 学 セ ン タ ー 図 書 資 料 室	7701
21 経 済 研 究 所 図 書 室	7107
24 ア ジ ア・ア フ リ カ 地 域 研 究 研 究 科 ア ジ ア 専 攻 図 書 室	9638
北部構内 (電話 4 ケタは内線. 外線は 075-753-****)	
図書館室名	電 話
8 理 学 部 中 央 図 書 室	3622
6 理・数 学 教 室 図 書 室	3703
10 理・物 理 学 教 室 図 書 室	3803
5 理・宇 宙 物 理 学 教 室 図 書 室	3900
12 理・地 球 惑 星 科 学 専 攻 図 書 室	3920
7 理・化 学 教 室 図 書 室	3966
9 理・生 物 科 学 図 書 室	4082
11 農 学 研 究 科・農 学 部 図 書 室	6016
14 農・生 物 資 源 経 済 学 専 攻 司 書 室	6201
17 東 ア ジ ア 人 文 情 報 学 研 究 セ ン タ ー 図 書 室	6990
15 基 礎 物 理 学 研 究 所 図 書 室	7007
16 数 理 解 析 研 究 所 図 書 室	7223
13 フィールド科学教育研究センター 森 林 系 図 書 室	6432

吉田南構内 (電話=4ケタは内線. 外線は 075-753-****)	
図書館室名	電 話
40 人 間・環 境 学 研 究 科 総 合 人 間 学 部 図 書 館	6525
医学部・薬学部・病院構内 (電話=4ケタは内線. 外線は 075-753-****)	
図書館室名	電 話
41 医 学 図 書 館	4313
48 医 学 図 書 館 人 間 健 康 科 学 系 図 書 室 (医 学 図 書 館 分 室)	075-751-3911
47 薬 学 研 究 科・薬 学 部 図 書 室	4595
46 再 生 医 科 学 研 究 所 図 書 室	075-751-3802
44 ウ イ ル ス 研 究 所 図 書 室	075-751-4006
45 ア ジ ア・ア フ リ カ 地 域 研 究 研 究 科 ア フ リ カ 専 攻 図 書 室	7816
42 東 南 ア ジ ア 研 究 所 図 書 室	7306
43 地 域 研 究 統 合 情 報 セ ン タ ー 図 書 室	9617

## ● 桂キャンパス (電話=6ケタは内線. 外線は075-383-\*\*\*\*)

図書館室名	電 話
4 工・化 学 系 図 書 室 (桂)	15-2581
3 工・電 気 系 図 書 室 (桂)	15-2344
1 工・建 築 系 図 書 室 (桂)	15-2962
2 工・地 球 系 図 書 室 (桂)	15-3146

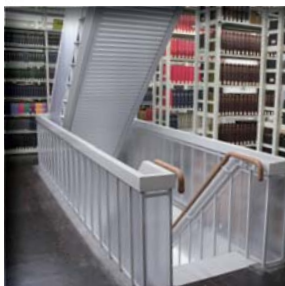
## ● 宇治キャンパス

図書館室名	電 話
49 附 属 図 書 館 宇 治 分 館	0774-38-3010

## ● その他のキャンパス

図書館室名	電 話
原 子 炉 実 験 所 図 書 室	072-451-2311
霊 長 類 研 究 所 図 書 室	0568-63-0516
生 態 学 研 究 セ ン タ ー 図 書 室	077-549-8230
フィールド科学教育研究センター 瀬 戸 臨 海 実 験 所 図 書 室	0739-42-3515





<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



2012(平成24)年7月発行  
 編集・発行：京都大学図書館機構  
 〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
 TEL.075-753-2613 FAX.075-753-2629



適切に管理された森林から  
 切り出された木材を使用しています